

2019 年度九州沖縄地区合同シンポジウム（開催予告）
「魚礁を取り巻く海洋環境と漁場整備技術」

日時：2019 年 11 月 27 日（水） 10：30～17：30（予定）

場所：佐世保市労働福祉センター

共催：一般社団法人水産海洋学会，日本海洋学会西南支部，日本海洋学会沿岸海洋研究会

コンパニナー：杉松宏一，樽谷賢治（水産機構西水研），井上誠章（水産機構水工研），
滝川哲太郎（長崎大院水産・環境）

基調講演：1～2 題，40～50 分程度

一般講演：8～10 題，1 題 15～20 分程度（講演者数により変更する場合があります）

入場料：無料

開催趣旨：魚礁は，周辺に広く分布する魚類を集める蝟集効果，稚仔魚の保護・育成場を提供する効果，食物連鎖を活発にして生物の生産性を高める機能などとされ，多くの人工魚礁が日本各地に設置されてきた。しかし，その効果については定性的な評価に留まっており，定量的な検討は十分になされていない。近年の沿岸域は，水産資源の低迷，漁業人口の減少，漁業の省エネ化，地球温暖化への適応など，水産業を取り巻く情勢が変化してきている。持続的かつ効率的な沿岸漁業を確立するためには，魚礁の有効性について改めて検証する必要がある。そのためには，魚礁を取り巻く海洋環境の詳細や漁業による利用状況，魚礁機能が発現するメカニズムの解明とその定量化，効果的な魚礁の形状・規模と配置方法などが必要とされるが，これらの検証を可能とする調査データや知見の蓄積は未だ少ない。

このような背景から，本シンポジウムでは魚礁を取り巻く海洋環境調査と漁場整備技術の現状を整理し，豊かな生態系を持続的に利用するための漁場整備の方向性や今後どのような研究を行うべきかを議論することを目的とする。対象とする魚礁は，人工礁，天然礁，浮魚礁を問わない。また，周辺海域の環境変化に伴う漁場（例えばフロント）や藻場の形成などに関する話題も広く募集することで，沿岸域から沖合域までの海洋・漁場環境をより広く総合的に議論できることを期待している。

一般講演の募集要領

◇締切：2019 年 9 月 24 日（火）必着

◇必要事項：講演題目，共著者を含む講演者所属・氏名，E-mail アドレス

・一般講演の採否結果は，9 月末までに通知します。

◇申込先：〒851-2213 長崎市多以良町 1551-8

西海区水産研究所 有明海・八代海漁場環境研究センター環境保全グループ 杉松宏一

電話：095-860-1600, FAX：095-850-7767, E-mail：sugimatu@affrc.go.jp

講演要旨

◇締切：2019年11月15日（金）必着（送付先は講演申込先と同じ）

◇書式：日本海洋学会の研究発表大会時の講演要旨に準ずる。

- ・ワードプロセッサを用い、A4版用紙1枚。
- ・マージンは、上下に30mm、左右に20mmで設定。
- ・研究題目、発表者、所属、キーワードを上段（30mm程度）に記入。
- ・本文は2段組が望ましい。